

小中一貫教育推進協議会での主な意見（東条地域）

視 察 前	視 察 後
<p>①加東市の小中一貫教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校は地域と一体となつてつくっていかなければいけないということが大事である。 ・仲たがいになれば、地域のコミュニティがなくなってしまう気がするので、情報提供が必要である。 ・今、地域に十分な協力をしてもらっているが、今の小学校区単位の地域とのつながりが中学校区となることによって崩れてしまうのではないかという不安がある。 <p>②今後の活動内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加東市と条件の近いところ、問題点のあるところにもいきたい。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り、運動会などで保育園同士は今、交流しているので、よい流れを小学校へ持って行ってもらいたい。 ・人数が減ることにより小中一貫教育をするということであれば、東条東小学校の保護者は子どもの人数に関して危機感を持っている家庭はいないと思うので、小中一貫教育をしないで小学校が一緒になればよいという人が多い。だから、小中一貫教育というものをもっと説明していかないといけない。 ・東条が一番先に開校して不安定な状態で自分の子どもがその中に置かれるのは嫌なところもある。 ・多くのことを決めていかなければいけないので、H33年を延ばしてもっと議論をしてほしいという思いもある。 ・子どもは他の友達と一緒に成長して行ってほしいと思っているが、西小学校の新入生は少数なので大丈夫かという不安しかない。東条からいち早く進めていただきたい。 	<p>①先進校視察結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常から小学生と中学生が接することができるのがすばらしいと感じた。 ・教師の意見を取り入れた校舎で、地域に開放する場所もあり、協力体制ができていた。 ・地域の方のやる気が感じられた。 ・目的をはっきりさせた校舎設計で、施設・設備がとてもよく、施設は一体型とするべきである。 ・小中一貫教育は、デメリットがないと言われたのが印象的だった。 <p>②課題の整理と対応方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の開校には幅広い年代の方が関わってほしい。 ・説明会を最低でも年1回はする必要があるのではないか。 ・今やることは推進ではなく準備である。部会に広報部があればよいのではないか。 ・第1回の推進協議会を受けて、東西の小学校のPTA役員が集まった際に、「推進協議会等に学校評議員の参加が必要ではないか」、「教職員の賛否がわからない」、「用地問題（河川災害）、カリキュラムの問題がある」という意見があったことも知っておいていただきたい。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西小学校は新生が5人程度になるようで、親としてはとても不安である。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">・今の子ども達の発達を考えると非常にすばらしい取組だと思う。自らの夢に挑む自立した子どもということであるが、どのようにして夢を描いていける力が養っていけるかを今後、是非聞かせてほしい。・東小学校区と西小学校区の温度差を実感した。・一番初めというとお試し感があり、もし失敗したらという不安がある。場所についても、もう少し別の場所を検討してほしい。 | |
|--|--|